

健康への一歩を踏み出すのは「今」 特定健診とがん検診を 一緒に受けるとお得です

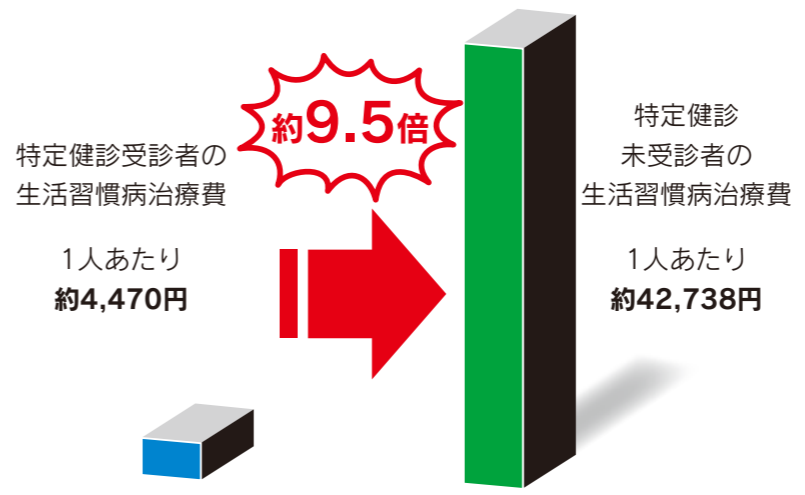
表4 特定健診受診率の推移

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 須恵町 | 28.3% | 31.0% | 35.2% | 37.3% | 38.0% |
| 福岡県 | 29.8% | 31.2% | 31.5% | 32.3% | 集計中 |
| 全国 | 34.3% | 35.4% | 36.3% | 40.1% | 集計中 |

表5 年齢層別特定健診受診率

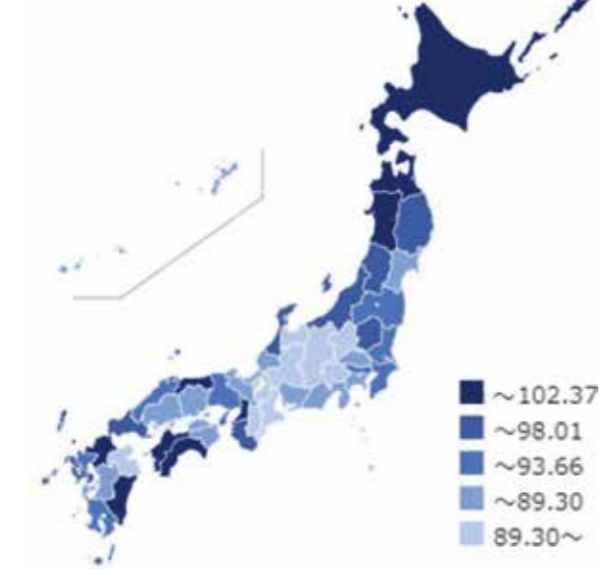
| | 40歳～ 44歳 | 45歳～ 49歳 | 50歳～ 54歳 | 55歳～ 59歳 | 60歳～ 64歳 | 65歳～ 69歳 | 70歳～ 74歳 |
|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 男 | 22.1% | 18.6% | 24.6% | 23.3% | 36.3% | 34.7% | 35.1% |
| 女 | 31.4% | 29.3% | 30.0% | 36.9% | 32.5% | 41.5% | 36.6% |

図2 特定健診受診と生活習慣病治療費の自己負担金比較



資料:KDBシステム 「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より
(平成29年度実績)

図3 都道府県別がん検診受診率



資料:国立がん研究センターがん対策情報センターより
(平成28年度)

表5 がん検診受診率

| | 胃がん | 大腸がん | 肺がん | 乳がん | 子宮頸がん |
|-----|------|------|-------|-------|-------|
| 須恵町 | 6.5% | 8.4% | 10.6% | 16.0% | 10.2% |
| 全国 | 8.6% | 8.8% | 7.7% | 18.2% | 16.4% |

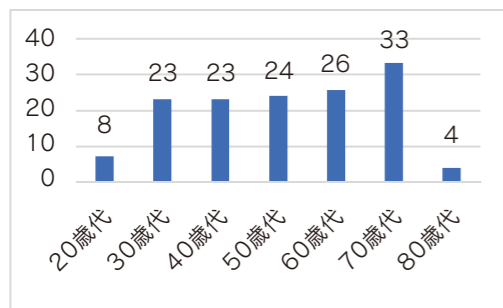
資料:地域保健・健康増進事業報告(平成28年)より

皆さんこんにちは、すえ子です。
今月のテーマは、「がん検診」。
まずは図3の日本地図を見て。これは「がん」における75歳未満の年齢調整死亡率よ。色の濃い都道府県ほど死亡率が高くなっているの。福岡県は全国と比べて「がん」で亡くなる人が多いのわかるわね。



でも、須恵町は肺がん検診以外、「がん検診」の受診率が全国よりも低くなっているの。(表5参照)今は、医学の進歩で「がん」にかかった人の約6割が治るそうよ。特に、初期段階で発見・治療をすれば、とても高い確率で治癒するわ。「初期」段階で「がん」をみつけるために「がん検診」はとても有効なの。
皆さんにも「がん検診」をぜひ受けて欲しいわ。町で行なっている「がん検診」は、ホームページで確認できるのよ。

図4 年代別100日体重測定チャレンジ人数
(8月31日現在)



誰でも、ちよつとお得に参加できる健康づくりを始めませんか?
体重を測る習慣をつけると、日々の生活習慣の「気づき」につながります。
▼参加資格 18歳以上の須恵町民および須恵町に通勤・通学をする人
▼登録方法 チャレンジしたい人は、健康福祉課にお越しいただくか、電話でチャレンジの申し込みをしてくださいます。記録用紙をお渡しします。

現在 141人が挑戦中
100日 体重測定チャレンジ
11月30日(金)登録締切

100日体重測定チャレンジは、平成31年3月31日までの間に、計100日間体重を測って記録するものです。
チャレンジを達成された人には、さまざまな賞品を準備しています。いつでも

- ▼問い合わせ先
- ▼須恵町国民健康保険特定健診について
- 住民課 国民健康保険係
- ☎032-1467(ダイヤルイン)
- ☎032-1151(内線116)
- ※須恵町国民健康保険以外に加入している人は、加入している保険組合にお問い合わせください。
- ▼住民検診・がん検診・100日チャレンジ参加について
- 健康福祉課 保健予防係
- ☎687-1530(ダイヤルイン)

がん検診を最後に受けたのはいつですか。日本人の2人に1人は「がん」にかかるといわれています。
「がん」にかかっても、初期の段階では多くの場合、ほとんど自覚症状がありません。症状が現れたころには、「がん」がすでに進行していて手遅れになってしまいうケースも少なくありません。
自覚症状がないころから、定期的健診を受けて、「がん」を早期に見つけることがとても重要です。
がん検診は、集団検診・個別健診を受診する時に一緒に受けられ、医療機関などで受診するよりも安価で受けられます。

健診の目的は「病気を見つけること」ではありません。「自分の今の体の状態を知ること」なのです。そして、「将来のために今から生活習慣を見直し、行動を変えること」が重要です。
健診は1時間程度で終わります。そのわずかな時間で今のあなたの体の状態を知ることができ、また、あなたやあなたのご家族の将来の負担を減らすことにも繋がります。

年代別に受診率をみてみると、60歳より若い世代が特に受診率が低い状況です。
(表5参照)「面倒くさい」「自分の体のことは自分が一番わかっている」「自覚症状がないから大丈夫」と考えていませんか。
特定健診の受診をしていない場合としていなかった場合の生活習慣病の医療費の自己負担額を比較すると、受診をしていなかった場合の自己負担額は、受診していた場合の約9.5倍(平成29年度実績)になっていることが分かります。
(図2参照)
生活習慣病であると診断された場合、本人の苦しみや治療費のほか、家族の負担も増えることとなります。